



「こどものための環境づくり」に向けて

# こども環境学会へご参加下さい

## 《こどもが健全に育つ環境づくりに向けて》

### ＊ いま、こども達の育ちが危うくなっています —いじめ 不登校 少年犯罪 心身の活性の低下—

ものに埋もれ、食べるに不自由しない暮らしの一方で、不登校、非行、犯罪、生活習慣病など、こどもに関わるさまざまな社会現象が目立ってきています。こども達の心と体の両面において、「活性」が低下していることが心配されます。

またこどもに事故や犯罪などの危険が迫り、いじめや児童虐待など人間関係においても、さまざまな問題が顕著になってきています。家庭や教育現場や街などさまざまな場において、こども達に係わる問題が多発しています。

### ＊ こども達を取り巻く環境が悪化しています —都市化の進展の中での「こどもの視点」の欠如—

なぜ、このような事態が生じたのでしょうか。

わが国の1950年代以降は、経済的な繁栄を目指して、都市化と自然破壊が進み、機能や効率が優先される中で、家族や社会のありようが大きく変化してきました。こうした中に「こどもの視点」が欠如していたのではないのでしょうか。

こども達を取り巻く環境が大きく変化してゆく中で、環境の変化がこども達にどのような影響を与えるかが十分に把握されておらず、対症的な対策でしか対処できていないのが、現状ではないのでしょうか。こども達を取り巻く環境と心身の成育との関係についての科学や学問は確立されていないのです。

こども達が元気に成育できる社会環境を構築するためのロードマップが必要です。

### ＊ こどもの成育に寄与する環境づくり —実践者と研究者が連携する学際的な総合科学—

こども達は、自分たちが育つ環境を選ぶことができません。

未来を担うこども達が心身ともに健全に育つことができる環境が、未来を創るといえます。学問の領域を超えて、研究者や実践者が集い、共に研究し、提言し、実践してゆくなかで、こどもの成育に寄与する環境科学を確立し、こどものためのよりよい環境を実現することが、『こども環境学会』の目的です。

こども達のために豊かな成育環境を実現することに関心を持っておられるすべての方々の参加をお待ちしております。

こども環境学会 会長 小澤紀美子（東海大学教授）

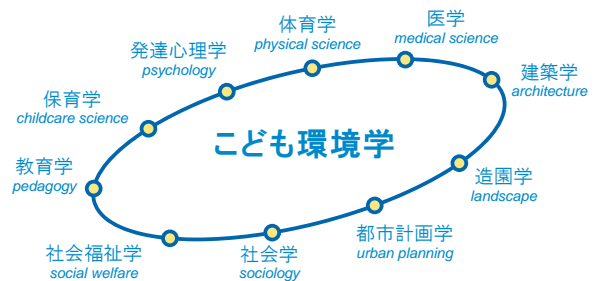
こども環境学会 代表理事 仙田 満（東京工業大学名誉教授）

## 《こども環境学会がめざすもの》

1. 「こどもの環境」に関わる総合的な学術研究体制の確立  
都市、建築、社会工学、教育、保育、発達心理、社会、保健、体育、医療、福祉などこどもに関わるすべての学問分野の連携をめざします。
2. 「こどもの環境」に関わるすべての人の参画  
学術的な研究者のみならず、家庭、保育、教育、地域、行政などこどもに接する現場にいる方々の幅広い参画をめざします。
3. 「こどもの環境」についての啓発  
こどもを取り巻く環境がこどもの成育に与える影響について学術的な観点から解明し、こどもにとっての環境の重要性について幅広く啓発することをめざします。
4. 「こどもの環境」の総合的な施策の推進  
教育、福祉、医療、都市、交通、警察など縦割りに分断された行政機構を超えて、こどもための環境づくりをめざす総合的な施策の提案と推進を図ります。
5. 「こどもの環境」国際ネットワークの構築  
こどものための環境づくりにおいて優れた諸外国やこれから都市化の進展が予想される国々などとの連携を図り、こどもの環境づくりの国際的なネットワークの構築をめざします。

## 《こども環境学会の活動》

1. 年次大会と各種研究集会の開催
2. 学会誌・論文集および会報の発行
3. インターネット上での情報提供
4. シンポジウム、講演会、講習会等の開催
5. 学術データベースの作成と公開
6. こどもの環境づくりへの実践と支援
7. 国内、国外の関連団体との連携
8. 国や自治体などに対する施策の提言や助言
9. こどもの環境の向上に資する業績についての顕彰



### 主な設立発起人

網野 博博	上智大学・教授	木下 勇	千葉大学・助教授	仙田 満	東京工業大学大学院・教授	日暮 眞	東京家政大学・教授
飯島 純夫	山梨大学医学部・教授	熊谷 洋一	東京大学大学院・教授	高橋 鷹志	東京大学・名誉教授	平川 宗宏	環境設計工房・代表
五十嵐由利子	新潟大学・教授	桑原 淳司	日本大学芸術学部・教授	高山 英男	子ども調査研究所・所長	福岡 孝純	日本こども家庭総合研究所・所長
石井 昭夫	九州大学大学院・教授	小池 富夫	プロジェクト・プレーン主宰	竹下 輝和	九州大学工学部・教授	福岡 孝純	東京農業大学・教授
石川 史郎	元竹中工務店・副社長	小澤紀美子	東京学芸大学・教授	建部 謙治	愛知工業大学・教授	福島 駿介	琉球大学・教授
石崎 優子	関西医科大学・小児科講師	近藤 洋子	玉川大学文学部・教授	多田 善昭	多田善昭建築設計事務所	藤枝 俊之	ふじえだファミリークリニック・院長
大沢 力	東京家政大学・教授	斎藤 喜能	横浜国立大学・名誉教授	田中 栄治	地域交流センター・代表理事	藤原 宣夫	国土技術政策総合研究所
岡崎 喜幸	京都大学・名誉教授	才村 純	子どもこども家庭総合研究所	辻 吉隆	国立病院機構・施設整備室長	前田 怜嗣	地域計画建築研究所
岡島 成行	大妻女子大学・教授	櫻場 宏一	共創未来ネットワーク主宰	寺本 潔	愛知教育大学・教授	松永 静子	臨床育児保育研究会
岡部 武史	神奈川県立厚木病院・院長	塩川 寿平	東横学園女子短期大学・教授	東間 翔子	園庭遊具研究家	松本 直司	名古屋工業大学・教授
織田 正昭	東京大学大学院・教官	塩野谷 斉	鳥取大学・助教授	中津 秀之	関東学院大学・助教授	宮本 文人	東京工業大学・教授
大日向雅美	恵泉女学園大学・教授	汐見 稔幸	東京大学大学院・教授	中山 豊	環境デザイン研究所	三輪 泰司	京都造形芸術大学・教授
大村 虎一	宮城大学・副学長	重村 力	神戸大学・教授	中村 攻	千葉大学・教授	村上美奈子	計画工房主宰
加藤 忠明	成育医療センター研究所・研究部長	清水 将之	関西国際大学・教授	中村 勉	ものづくり大学・教授	村山 祐一	鳥取大学・教授
神谷 昭宏	聖徳大学・助教授	青山 順一	青山学院大学・教授	布田 健	建築研究所	日黒 実	篠山パトリミューヅ 副館長
岸 裕司	秋津コミュニケーション・顧問	陣内 雄司	宇都宮大学・助教授	野口 孝博	北海道大学大学院・教授	矢田 努	愛知産業大学・教授
木村 歩美	篠原学園専門学校	住田 正樹	九州大学大学院・教授	服部 明世	大阪芸術大学・教授	横尾 義貴	京都大学・名誉教授

# こども環境学会 入会申込書

入会希望の会員種別に○印をつけ、下欄にお名前などをご記入の上、事務局へFAXしてください。

**FAX送信先：03-6441-0563**

○印	会員種別	年会費	入会金	合計金額	役員 選挙権	学会誌送付等の会員サービス(予定)			備考
						学会誌・論文集 (年2冊)	こども環境レポート (年4冊)	メールマガジン (年6回)	
	正会員	10,000円	1,000円	11,000円	○	○	○	○	選挙権をもつのは正会員のみです。
	学生会員	5,000円	1,000円	6,000円	×	○	○	○	大学生・大学院生に限ります。
	団体会員	10,000円	1,000円	11,000円	×	○	○	○	非営利団体に限りです。
	準会員	5,000円	1,000円	6,000円	×	×	○	○	学会誌・論文集は送付されません。
	賛助会員	30,000円	無料	30,000円	×	○	○	○	1口30,000円。何口でも結構です。
	こども会員	無料	無料	無料	×	×	×	○	高校生以下に限ります。

## <組織について>

本会は2011年8月10日に公益社団法人の認定を受けました。

## <年度区分について>

本会の年度は、毎年4月1日より、翌年3月末日までとし、会員は年度単位とし、退会届を提出しない限り、自動的に継続するものとする。

## <会員種別について>

### 1) 正会員

本会の目的および活動の趣旨に賛同し、本会が行なう研究、事業または実践活動に積極的に参加する個人。

### 2) 学生会員

本会の目的および活動の趣旨に賛同し、本会が行なう研究、事業または実践活動に積極的に参加する学生（短大生、大学生、大学院生、または同等レベルと認められる学生）。

### 3) 団体会員

本会の目的および活動の趣旨に賛同し、本会が行なう研究、事業または実践活動に積極的に参加する非営利の団体（グループ、組織を含む）。

### 4) 準会員

こども環境に関心があり、本会の目的および活動の趣旨に賛同する個人。

### 5) 賛助会員

本会の目的および活動の趣旨に賛同し、本会が行なう研究、事業または実践活動を積極的に支援し、賛助する個人または団体。

### 6) こども会員

こどもの環境の問題に関心がある高校生以下の個人。

## <入会手続きにあたって>

1. 本申込書を事務局までFAXいただき、下記振込先に入会金および年会費をお振込ください。申込み受付確認のEメールあるいはFAXをお送りいたします。
2. ホームページからも入会申込が出来ますのでご利用下さい。
3. お申込みいただいた後、1週間以上事務局からの確認連絡がない場合、何らかの不具合が考えられますので、事務局までご一報くださいますようお願いいたします。

**振込先：みずほ銀行 自由が丘支店 店番号533**  
**普通預金口座 2560885**  
**公益社団法人こども環境学会**  
**シャ)コドモカンキョウガクカイ**

お名前		フリガナ
自宅	住所	〒
	TEL	
	FAX	
	e-mail	
	Web site	
勤務先 学校 所属団体 等	所在地	〒
	組織名称	
	所属・役職	
	TEL	
	FAX	
	e-mail	
	Web site	
連絡先	自宅・学校・勤務・所属団体 (上のいづれかに○印をつけてください)	
会員種別	正・学生・団体・準・賛助・こども (上のいづれかに○印をつけてください)	
振込金額	合計金額 _____ 円 (上の表で金額をご確認ください)	
領収書	不要・必要 (宛先: _____) (上のいづれかに○印をつけ、必要場合は宛先をご記入ください) 振込予定日 月 日・振込済み	
ご自身のこどもを取り巻く環境との関わりや本学会に期待することなどを自由にお書きください。		



公益社団法人

**こども環境学会**

Association for Children's Environment

〒106-0044 東京都港区東麻布3-4-7 麻布第1コーポ601

Tel 03-6441-0564 / Fax 03-6441-0563

e-mail: info@children-env.org

Web-site: http://www.children-env.org

事務局担当: 中山・當本

※事務局は、2013年12月24日に上記に移転しました